

## 「河川砂防技術研究開発」(平成27年度採択)

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
弱点箇所抽出技術の開発 (研究期間：H27年～H29年)	岡山大学 西垣 誠	C
<b>&lt;研究概要&gt;</b> <p>本研究は河川堤防にける弱点箇所を抽出する技術の開発を目的に、Ⅰ河川堤防内の土層構成の調査法に関する研究、Ⅱ進行性破壊の発生しやすい地盤条件把握のための模型実験を行ったものである。Ⅰ調査法に関する研究では、(1)機械ボーリングを補間する調査法、(2)不飽和土の浸透特性・力学特性を把握する調査法、(3)新たな調査法としての「空気圧による連通試験」について、実河川堤防を用いた調査検証を行った。</p>		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> <p>表面波探査とCPT、空気圧連通試験など個々の技術・手法を力学的な考察により組み合わせて弱点箇所の絞り込みの可能性について示されたことについては、一定の研究成果があったと言える。</p> <p>しかしながら、中間評価でも指摘された個々の調査法における現場の弱点箇所を絞り込むための条件が不明確で、空気注入箇所や受信箇所の選定条件などをさらに明確にする必要がある。また、現場で得られる透水係数の分布と空気圧連通試験で得られた結果を結びつけパイピングによる堤防破壊プロセス等との関係を考察に加えるなどの必要があったと考えられる。</p> <p>今後は、現場での適用性や適用限界などの課題をより明確にしていくことが期待される。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い